

**病害虫の発生は全般的に少なく、生育は概ね順調です。台風 10 号による被害が心配されましたが、中程度の倒伏が一部圃場で見られた程度で全体的に大きな被害はなかったようです。なお、このまま高温傾向が続けば、**収穫時期は例年よりかなり早まる**と思われます。**

8月31日 現在	温度(°C)			日照時間(h)			降水量(mm)		
	平年	今年	平年差	平年	今年	平年比(%)	平年	今年	平年比(%)
6月	22.6	23.7	1.1	136.7	152.0	111.2	243.3	213.5	87.8
7月	26.8	29.5	2.7	174.9	233.3	133.4	294.1	181.0	61.5
8月上旬	28.2	30.5	2.3	73.8	116.6	158.0	49.5	0.0	0.0
8月中旬	27.7	29.6	1.9	65	98.1	150.9	73.1	1.0	1.4
8月下旬	26.8	29.0	2.2	64.1	66.4	103.6	88.4	157.5	178.2

## 1. 収穫までの水管理

**できるだけ遅くまで間断灌水を継続し、粒を充実させましょう！**

- ・ 出穂期後 1 週間ほど過ぎたら間断灌水（入水し自然に水が無くなるまで溜めておき、1～2 日程度水を入れない状態を保つ）を行いましょう。
- ・ 収穫間際（出来れば収穫の 1 週間前）まで間断灌水を行い、落水時期を遅くしましょう。収穫直前まで、籾の粒は充実します！

### 台風対策

台風シーズン到来です。強風による脱水症状や葉先枯れ、さらには葉先の裂傷などで光合成能力が低下し、くず米が増える懸念があります。**台風襲来時は必ず深水で管理**しましょう。

稲刈り間際の場合には、台風襲来前に稲刈りを終わらせましょう。

台風対策は前もって行い、**風雨が強い時間帯に圃場に行かないよう**にしましょう。

## 2. 病害虫の発生状況（9/2 現在）

### （1）斑点米カメムシ類

今年は例年より発生が多かったため、防除を行った圃場も多かったのではないかと思います。

なお、畔草刈りは出穂後 3 週間程度経過してから行いましょう。草刈りが早すぎるとカメムシに乳熟期から糊熟期の籾を吸われ、斑点米が発生します。



ホソハリカメムシ

### （2）イネカメムシ

イネカメムシについては、地域・圃場によって発生量にバラツキがあったようですが、心配された出穂期の集中飛来は認められませんでした。

発生が認められる場合は、斑点米カメムシ類と合わせて防除を行った圃場もあったようです。

なお、**出穂期が遅いヒヨクモチにイネカメムシが集まる可能性もあります**ので、念のため発生に注意してください。



### (3) いもち病・紋枯病

いもち病は全般的には少発生です。紋枯病は発生が目立つ圃場もありますが、全般的には少発生です。



穂いもち



紋枯病

### (4) トビイロウンカ(秋ウンカ)

現時点で、管内の圃場においては確認できておりませんが、最後まで気を抜かず稲刈りまでご自分の圃場は注意して観察しましょう。



トビイロウンカ



坪枯れ

## 4. 収穫について

**稲の8割程度が黄色になった時期が収穫適期です。適期収穫に努めましょう！**

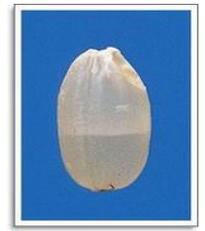
(1) 収穫適期予想 出穂期後の積算気温(9月1日以降は平年値)により収穫適期目安を算定

品種	田植	出穂期	収穫適期予想
夢つくし	5/18	7/28	8/26～9/1
	5/25	7/29	8/27～9/2
	6/8	8/8	9/9～9/15頃
元気つくし	5/25	8/3	9/3～9/9頃
	6/1	8/7	9/8～9/14頃
	6/8	8/8	9/9～9/15頃
	6/15	8/14	9/16～9/22頃
	6/22	8/18	9/22～9/28頃
ヒノヒカリ	6/1	8/19	9/23～9/29頃
	6/8	8/20	9/25～10/1頃
	6/15	8/23	9/29～10/5頃
	6/22	8/25	10/2～10/8頃
ヒヨクモチ	6/15	9/3	10/18～10/24頃
	6/22	9/5	10/20～10/26頃

収穫適期は、圃場毎の出穂期(田植え日が同じでも、立地条件、水管理や施肥状況、病害虫の発生状況、田植時の苗質などで多少変動します)や今後の天候、圃場の栄養条件などで変わります。小出来の圃場は熟れが早くなる傾向があります。ご自分の圃場を確認して、上記表を参考に稲刈りを行って下さい。

**※高温の日が続いた場合、上記より収穫適期が早まる可能性があります。**

## 5. 等級を低下させる要因



【胴割れ粒】

### (1) 胴割れ（立毛胴割れ）

早期落水した場合に、田んぼの中で胴割れが発生します。

**できる限り落水時期を遅く**し、適期収穫を行いましょう!!

収穫日近くまで水をためておくことで、粒張りも良くなります。

### (2) ヤケ米

収穫した籾を炎天下に置いていたり、コンバイン袋に入れて放置していると、カビや細菌等の微生物の影響により、ヤケ米が発生します。

収穫後は出来るだけ早く（出来れば収穫後2～3時間以内）乾燥機に入れましょう!!

## 6. 収穫機の掃除と収穫期の安全対策

**清掃や点検を徹底し、事故を防ぎましょう!!**

- (1) コンバインや乾燥機・籾摺機の清掃を十分に行い、異物等の混入や、コクゾウムシ等の害虫が発生しないようにしましょう!!
- (2) コンバイン作業は、巻き込まれ事故や転倒・転落、**移動時には周囲の安全確認を十分**に行いましょう！作業中に**詰まったらエンジンを切り点検する**事を徹底しましょう！
- (3) コンバイン等を**バックさせる場合**には、周囲に知らせるため**ホーン**を鳴らしましょう。

## 7. 乾燥について

**適正水分に乾燥するために(水分 15.0%仕上げの場合) 機種・メーカーにより異なります**

青米粒数(100粒中)	乾燥仕上設定水分	乾燥停止後の水分変化
0-5粒	15.5-15.1%	0.5%程度乾く
6-10粒	15.0-14.6%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.5%	0.5%程度戻る

### ① 上表のように、青米の入り方によって乾燥機を止めた後に水分が増減します

青米の入り方によって、乾燥仕上設定水分を調整しましょう。乾燥機の水分計と手持ちの水分計には誤差がある事があります。

**水分18～19%時に一度乾燥機を6時間程度止め、籾水分を均一化**しましょう。

その後、**16%時にもう一度止め、手持ちの水分計で水分を測定し誤差を把握**しましょう。

水分計は土井倉庫・多々良支店・月隈支店にもありますのでご活用下さい。

### ② **張込量に見合った穀物量ダイヤル**に設定しましょう。

基本的な事です、張込量が半分ぐらいであるにも関わらず、穀物量ダイヤルが半分を遥かに超えている。そんな事はありませんか？

それでは、熱風温度が高くなり、過乾燥になるだけでなく胴割れも発生してしまします。

## 8. 米の出荷について

令和6年産米の集荷に向けて**新規出荷者の募集**を行っております。

また、同時に**令和5年産以前の米の集荷も**行っております。古米は出荷して頂き、皆様方には、新米を味わっていただきたいと考えておりますので、是非ご出荷下さい。

集荷に関するお問い合わせは営農生活課へお願いいたします。

## 地球温暖化防止

稲わらは秋にすきこみ、腐熟を進めましょう!!

(田植え後、メタンガスの発生が少なくなり、**地球温暖化防止**に役立ちます。)

### ※土井米穀店からのお願い

土井米穀店にて、籾摺りを行った際にサイロへ籾殻が溜まっている状況が続いておりますので、今後、土井米穀店で籾摺りを行なわれた場合は、可能な限り引き取りのご協力をよろしくお願い致します。

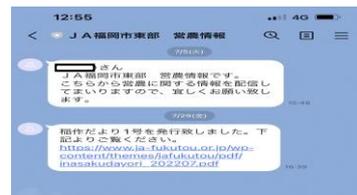
また、店舗を利用されていない方でも、籾殻の引き取りも歓迎致します。

土井米穀店 TEL092-691-3010

## 営農情報について

①最新の情報を LINE でお届けいたします。

営農情報（稲作だより等）を「JA 福岡市東部 営農情報」の LINE でも発信しております。下記の QR コードから LINE のご登録をお願いいたします。



②稲作だより等の情報が下記の QR コードよりご覧いただけます。



※今後の発行スケジュールですが、「稲作だより 4号」を年末にと考えておりますので、ご参考下さい。

ー内容に関する問い合わせは営農生活課 または各支店の営農経済担当者へー